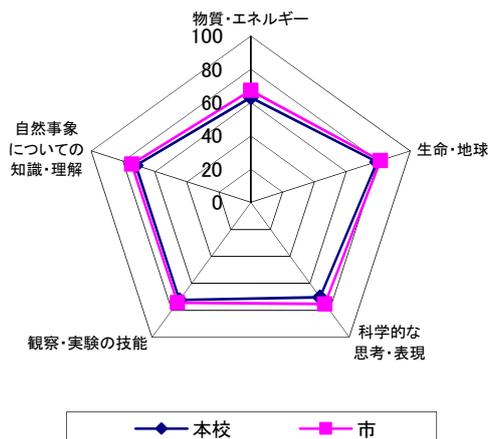


宇都宮市立富士見小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	63.1	67.3	64.4
	生命・地球	79.1	81.3	80.3
観点別	科学的な思考・表現	70.4	75.3	72.6
	観察・実験の技能	72.4	74.4	73.5
	自然事象についての知識・理解	72.1	74.7	73.1

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>○「ふりがなが1往復する時間とふれはばの関係を知るための対照実験をする」問題の正答率は68.7%で、市の正答率を6.8ポイント上回った。また、「メトロノームのテンポを遅くする方法」を問う問題の正答率は68.7%で、市の正答率を9.6ポイント上回っていた。</p> <p>○「物の燃え方」の空気中の物質の組成を問う問題の正答率は85.2%で、市の正答率を10.5ポイント上回っていた。</p> <p>●「水溶液の性質」では、実験の結果から予想を検証して説明する問題の正答率は43.5%で、市の正答率を15.6ポイント下回った。</p> <p>●「物のとけ方」の「ミョウバンの水溶液の重さを求める」問題の正答率は47.0%で、市の正答率を10.6ポイント下回った。</p>	<p>・物のとけ方に関する問題については、ミョウバンの溶けた水溶液は温度によって溶ける量に違いがあることを温度と溶けたミョウバンの量のグラフから読み取ることができるように実験に必要な用具や手順を確認しながら復習を行っていく。</p> <p>・水溶液の性質では、塩酸の性質を調べるときに薄い塩酸にアルミニウムや鉄を溶かした後で見えなくなった金属を確認する方法を他の水溶液でも比較しながら多面的に様々な視点から考えを類推する機会を設け、グループや学級全体で話し合うようにする。また、実験の結果から分かったことを自分の言葉で表現できるようにキーワードを提示するようする。</p>
生命・地球	<p>○「人のたんじょう」では、母親と胎児をつなぐへそのおの名称を問う問題の正答率は88.7%で、市の正答率を6.9ポイント上回った。</p> <p>○「植物のつくりとはたらき」の、「葉にでんぷんがあるかどうかを調べる」問題の正答率は72.2%で、市の正答率を1.3ポイント上回った。</p> <p>●「月と太陽」の「月の周期がおよそ1ヶ月であるか」の問題の正答率は71.3%で、市の正答率を13.8ポイント下回った。</p> <p>●「生物とかんきょう」の「地球上から酸素がなくなる理由」を説明する問題の正答率は77.4%で、市の正答率を8.5ポイント下回った。</p>	<p>・月と太陽に関する問題については、月の左右のどちら側に光が当たっているのかを考えさせ、校庭で月の動きの観察を定期的に行い、規則性に気付かせていく。月齢カレンダーや新聞の記事なども活用するようにする。</p> <p>・植物の光合成のはたらきと動物や植物の呼吸を関係づけながら説明できるように図に表すことで確認していくようにする。</p>